

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		03 08 02	中期総合計画主要施策番号		-	担当課	部・課	総務部広報課	
事業名		広聴事業					内線	2268	
							E-mail	koho@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	開かれた県政を推進するため、様々な手法により多くの県民の意見を収集し、施策に反映させる。							
	事業の必要性	様々な手法を通じて県民が意見等を伝えやすい環境を整えており、一部件数の減少が見られるものの、幅広く県民の意見等を収集できている。さらに、寄せられた意見等は関係部局へ伝え、その一部は、県民へのサービス向上や県の施策に活用されている。 このことから、開かれた県政を推進するためには、県民の意見をしっかりと聴くことが不可欠であるので、引き続き、多くの県民が意見等を伝えやすい環境の整備に努める。							
	事業内容	様々な手法を活用して広聴活動を行う。 1 集会広聴(車座集会) 2 個別広聴(ようこそ知事室へ、信州・フレッシュ目安箱、県政世論調査、県庁総合受付案内、県庁社会見学) 3 県民との協働に資する事業(県政出前講座、県民参加の政策づくり推進事業)							
	実施期間	H13 ~	根拠法令等	長野県広報広聴活動運営要領					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	様々な手法により多くの県民の意見を収集し、施策に反映させる。		様々な手法を活用して、多くの県民から意見収集を行う。			車座集会 6回開催、ようこそ知事室へ 4回開催、信州・フレッシュ目安箱受付件数498件などを活用し、多くの県民から意見収集を行った。		a.期待以上 b.期待どおり	
			県民からの意見を施策に反映する。			車座集会施策反映件数(要望件数) 81件(135件)、ようこそ知事室へ施策反映件数(要望件数) 29件(48件)、県民参加の政策づくり推進事業反映件数(提案件数) 43件(91件)と、県民からの意見を施策に反映した。		c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	15,074	13,209	13,598	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	13,146	11,467		実施方法	直接 委託	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	13,146	11,467	13,598	歳出節別内訳等 (単位:千円)	報償費:230、旅費:130 需用費:1,033、役務費:215 委託料:8,946 使用料及び賃借料:913	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	6.00	6.00	6.00			
	概算人件費 (C)	千円	42,840	42,894	42,894				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	55,986	54,361	56,492				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	車座集会等参加人数・実施回数		人・回	860人・6回	840人・6回	800人・8回	県政世論調査対象人数・回収率 2,000人・67.2% 県庁総合受付案内件数 18,824件 県庁社会見学者数 15,669人 県政出前講座参加人数・実施回数18,121人・295回		
	ようこそ知事室へ参加組数・実施回数		人・回	23組・5回	18組・4回	22組・6回			
	信州・フレッシュ目安箱受付件数		件	600件	498件	500件			
事業課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・開かれた県政を推進するためには、県民の意見等をしっかりと聴くことが不可欠であり、その手段としての広聴事業の必要性は高い。 ・車座集会では、最低限の予算及び人員で設営を行い、県政世論調査、県庁総合受付案内(県庁社会見学会含む)では民間委託を行い効率化を図っている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		集会広聴、個別広聴、県民との協働に資する事業の実施を通じて、引き続き多くの県民が意見等を伝えやすい環境整備に努めるとともに、その手法・内容などを適宜見直し、改善を図っていく。						